

## 「【新】アスレティックトレーナーコース」

※申請コースごとに下記書類がまとめて添付されているか確認の上、をお願いします。

本紙は各コースの書類の先頭に付けて提出してください。

## 【添付書類】

- 1 アスレティックトレーナーコース申請書（2023年度対応版）
- 2 専門科目講習免除申請対応表
- 3 シラバス
- 4 アスレティックトレーナー専任教員個票
- 5 アスレティックトレーナーコース講師名簿
- 6 アスレティックトレーナーコース講師個票  
※継続校は、以下のいずれかに該当する場合に当該講師の提出が必要  
・前年度から講師が変更した場合  
・前年度から担当科目が変更した講師がいる場合
- 7 施設・設備申請書 ※新規申請時のみ

## コメントの追加 [雪西1]: 申請時のポイント

- ・資料が全て揃っているかご確認ください。
- ・共通科目の書類は混ぜず、ATコースはATコースでまとめてください。

## 【注意点】

- シラバスについて⇒共通科目コースと専門科目コースで、共通するシラバスがある場合でも、それぞれに添付が必要。
- AT 個票について⇒共通科目コースと専門科目コースで、共通するシラバスがある場合でも、それぞれに添付が必要。

令和 年度公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会  
講習・試験免除適応コースアスレティックトレーナーコース申請書

【新規・継続】(2023年新カリキュラム対応版)

令和5年12月1日

公益財団法人日本スポーツ協会  
会長 遠藤 利明 様

学 校 名 : スポーツ大学  
学 部 名 : スポーツ学部  
学 科 名 : スポーツ学科

コ ー ス 名 :  
認定 ID/分類 :

担 当 者 : 西田雪乃  
(Eメール: ~~~@japan-sports.or.jp)

コメントの追加 [雷西1]: 各校において AT コース等を  
設置されている場合はご記入ください。

コメントの追加 [雷西2]: 旧カリキュラムでは申請して  
いなかったコース(学部・学科等)の新規申請の場合、  
認定 ID・分類が未設定ですので、空欄で問題ございま  
せん。

公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会講習・試験免除適応コースとして、  
下記の通り関係資料を添えてアスレティックトレーナーコース(2023年新カリキュラム対応版)の  
申請を致します。

記

1. 実技確認テストを受験する学年の1学年あたりの見込み人数: 60名

コメントの追加 [雷西3]: コース人数あたりの専任教員  
の人数は、審査基準「5. アスレティックトレーナー  
専任教員に関する事項」に記載の通り。

2. 公認アスレティックトレーナー専任教員

	氏名	JSP0-AT資格認定状況				更新研修 (○を付けてくださ い)	BLS資格 (○を付けてく ださい)
		登録番号	初期登録日	登録年数	有効期限		
1	山田花代	1234567	2013年4月	11年	2025年9月	修了	有
2			年 月	年	年 月	修了・未修了	有・無
3			年 月	年	年 月	修了・未修了	有・無
4			年 月	年	年 月	修了・未修了	有・無
5			年 月	年	年 月	修了・未修了	有・無
6			年 月	年	年 月	修了・未修了	有・無

※ AT専任教員の個票を添付してください。

※ 登録年数は、申請年の4月1日現在で満何年かを記入してください。

※ 初期登録日、有効期限は西暦で入力してください。

日本スポーツ協会 公認アスレティックトレーナー養成講習会 専門科目講習免除申請対応表

記入例

公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会専門科目		免除を申請する科目の概要						
講習科目	時間数 (h)	科目の内容	授業科目	履修年次	履修単位数	総時間数	担当講師	備考
1. JSPO-ATの役割	30	1) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)とは 2) JSPO-ATのコンピテンシーに応じた業務と運営 3) JSPO-ATの活動と倫理および運営管理 4) JSPO-ATの安全と健康管理、セルフマネージメント 5) スポーツ医・科学チームとスタッフ 6) エビデンスに基づいた運営 (EBP) 7) 関係者・対象者とのコミュニケーション	アスレティックトレーニング論	1-4	2	30	山田花代	必修
2. 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防	90	1) スポーツ現場における安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防の概念 2) スポーツ現場におけるスポーツ外傷・障害・事故・疾病の実態 3) 各種要因が安全・健康管理に及ぼす影響 4) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防におけるJSPO-ATの役割 5) 健康管理 6) スポーツ外傷・障害の予防 7) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防のための各種評価と情報の活用 8) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害へ影響を及ぼしうる各種要因への対応	デーピング実習 アスレティックトレーナー実習 リコンディショニング論演習 コンディショニング論演習	2-4 3-4 1-2 1-2	1 2 1 1	30 30 15 15	佐藤まなぶ 伊藤はじめ 鈴木あきえ 鈴木あきえ	必修 必修 必修 必修
3. コンディショニング	90	1) JSPO-ATの役割としてのコンディショニング 2) コンディショニングのプログラムデザイン 3) 競技特性の分析 4) トレーニング各論 5) コンディショニングに関するそのほかの情報	コンディショニング論特講 スポーツ方法実習 コンディショニングデザイン論	2-4 1-4 3-4	1 1 2	30 30 30	長谷川はるか 長谷川はるか 山田花代・長谷川はるか	必修 必修 必修
4. リコンディショニング	90	1) リコンディショニング総論 2) リコンディショニングで用いる代表的な手法 3) リコンディショニングにおける評価とプログラミング 4) リコンディショニングに必要な組織修復、治癒過程の知識 5) 機能的、身体的な状態に応じたリコンディショニング 6) 部位ごとの状態に応じたリコンディショニング 7) スポーツ動作の問題に対するリコンディショニング	リコンディショニング論特講 リコンディショニング実習 スポーツ傷害評価論	2-4 3-4 3-4	1 1 2	30 30 30	佐藤まなぶ 金子三郎 橋本ゆい	必修 必修 必修
5. 救急対応	60	1) スポーツ現場と救急対応 2) 救急対応の考え方 3) スポーツ現場における救急体制構築の留意点と計画 4) スポーツ現場での外傷・障害の評価とその手順 5) 外傷時の救急対応 6) 内科的疾患に対する救急対応 7) 各競技における救急体制の実態	救急対応総論 EAP作成論	1-4 1-4	2 1	30 30	林こうた 山本たいき	必修 必修
6. 検査・測定と評価	30	1) JSPO-ATの行う検査・測定・評価とは 2) JSPO-ATの行う検査・測定・評価の実際	測定評価演習	2-4	2	30	小島しようた	必修
7. 人体の解剖と機能	60	1) 上肢・体幹 2) 骨盤・下肢	運動器の仕組みと動き(基礎) 運動器の仕組みと動き(応用) 機能解剖学実習 人体解剖学実習	1-2 1-2 1-2 1	1 1 1 1	15 15 15 15	木村りょうた 佐藤まなぶ 清田りょうじ 半沢ただし	必修 必修 必修 必修
8. スポーツ科学	90	1) 運動生理学 2) バイオメカニクス 3) 体力・運動能力向上と外傷・障害予防に必要なスポーツ科学の応用知識 4) スポーツ科学の基礎知識の体力・運動能力向上と外傷・障害への活用	スポーツ生理学 スポーツ生化学 スポーツバイオメカニクス スポーツ運動学 体力学 トレーニング学	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 2	15 15 15 15 15 30	大島はな 古川とけい 山口よしこ 村上寅次郎 田中るい 白鳥せいや	どちらかを 選択必修 必修 必修 必修 必修
9. スポーツ医学	60	1) 上肢・体幹・下肢の代表的なスポーツ外傷・障害 2) スポーツ現場でおこりうる留意すべき重篤な外傷・障害・疾病 3) スポーツ活動と関連する代表的な循環器疾患、呼吸器疾患、代謝性疾患、血液疾患等 4) スポーツ現場でおこりうる眼科、耳鼻科、歯科、皮膚科領域の代表的な外傷および疾病 5) 対象別(女性、高齢者、発育期、パラアスリート)によるスポーツ外傷・障害の特徴及び医学的留意事項	スポーツ医学基礎論 スポーツ内科学論 女性スポーツ医学論	1-2 1-2 1-2	1 2 1	15 30 15	小山たかこ 原けんた 笠井まさこ	必修 必修 必修
計	600					600		
※科目内容の時間数については、カリキュラム時間数を参考にすること。								
科目	時間数 (h)	科目の内容	免除を申請する科目の概要					
現場実習	30 150	1) 見学実習 2) 総合実習	※別紙 現場実習計画書を提出すること					
計	180							

申請時のポイント

- 時間数及び授業内容は、JSPOが定める「シラバス」に基づいているか  
202210\_syllabus.pdf (japan-sports.or.jp) (具体例)
- 各科目の時間数及び全体の時間数
- 各校の授業科目とJSPOの定める講習科目との照合  
→JSPOでは、各校のシラバスと併せて確認いたします！
- 担当講師は、JSPOが定める「科目別講師基準」の基準を満たしているか  
→詳細は、講師名簿で確認いたします！
- 講師の名前は、講師名簿と一致しているか  
→詳細は、講師名簿で確認いたします！

# 3

## シラバス(様式なし)

\*各学校が所有するシラバスから、AT コースに該当する授業を出力いただきご提出いただければと思います。

### 必要な情報

- ・授業名称
  - ・単位数
  - ・履修年次
  - ・担当教員
  - ・授業概要
  - ・授業方法
  - ・授業の到達目標
  - ・授業計画
  - ・教材
  - ・事前事後学習
  - ・成績評価方法
- 等

+その他の情報がのっていても問題ございません。

※年号は全て西暦で表記してください。

申請対象年度 2024年度

フリガナ		ヤマダ ハナヨ					
氏名		山田 花代					
JSP0-AT資格	登録番号	0123456	更新研修	受講済			
	初期登録	2013年 4月	有効期限	2025年 9月	経過年数	11	
	BLS	修了	取得年月	2024年 9月	資格名	消防庁 上級救命技能認定証	
	説明会	実技確認テスト検定員説明会		未受講		現場実習指導者説明会 受講済	
専任教員 就任 条件	専任教員講習会 受講年月*	2023年 10月	*新カリキュラムの専任教員講習会の実績を記入				
	大学院（修士もしくは博士課程）	未修了	大学院未修了の場合	条件①対象学会の学術集会の招待講演（基調、教育、特別等）またはシンポジスト等で講演した実績がある者。 条件①～④：下部の研究実績・学術活動に対象学会での活動が分かるようご記入ください。 条件⑤：下部の研究実績・学術活動に対象学会での活動が分かるようご記入いただくとともに、対象学会が発行する参加証明書類（参加証や領収証等）を別紙に添付のうえご提出ください。			
学歴	専門学校				年	月	
	大学	〇〇大学体育学科〇〇専攻			1998年 3月	卒業	
	大学院	(修士)				年	月
		(博士)				年	月
職歴	期間		会社・団体名等		役職等	常勤・非常勤	無給・有給
	1998年 4月 ～ 2004年 3月		〇〇スポーツセンター		契約研究員	常勤	有給
	2004年 4月 ～ 2006年 3月		〇〇大学		講師	非常勤	有給
	2006年 4月 ～ 2010年 3月		〇〇大学		准教授	常勤	有給
	2010年 4月 ～ 年 月		〇〇大学		教授	常勤	有給
	年 月 ～ 年 月						
	年 月 ～ 年 月						
JSP0-AT取得後の スポーツ現場での活動	期間		従事団体		役職名	常勤・非常勤	無給・有給
	2013年 4月 ～ 2016年 3月		〇〇クラブ		フィジカルコーチ	非常勤	有給
	2015年 2月 ～ 年 月		〇〇クラブ		コンディショニングコーチ	非常勤	有給
	2018年 8月 ～ 年 月		〇〇協会		女子日本代表フィジカルコーチ	非常勤	有給
	年 月 ～ 年 月						
	年 月 ～ 年 月						
	年 月 ～ 年 月						
教育実績	期間		ATコース承認校	教育機関名	担当科目	役職	
	2004年 4月 ～ 年 月		●	〇〇大学スポーツ学部	スポーツ科学	講師・准教授・教授	
	2008年 4月 ～ 2014年 3月			〇〇大学総合科学部	トレーナー基礎演習	—	
	2006年 4月 ～ 年 月		●	〇〇大学スポーツ学部	救命処置法	准教授・教授	
	年 月 ～ 年 月						
	年 月 ～ 年 月						
	年 月 ～ 年 月						
※1年以上継続して講義を担当した実績を記入すること。							

氏名		山田 花代							
研究実績・学術活動*	(1)	研究発表 (口頭・ポスター)	発表期日	発表場所		内容	方法		
			2022年 11月	2022 SPORTS Conference		Relationship ^^^	口頭発表		
			年 月						
			年 月						
	(2)	論文執筆 (原著・資料・創設・実践報告・事例報告)	発行期日	査読	著者	掲載誌名	巻号	pp開始項	pp終了項
			2019年 12月	あり	佐藤太郎・鈴木花子・山田花代	発育発達研究	2	100	120
			2022年 2月	あり	鈴木次郎・山田花代	臨床整形外科	4	22	32
			2023年 1月	あり	Yamada H, Kim K	The Journal of Strength^^^	2	80	90
	(3)	専門書籍 の執筆等	発行期日	書籍タイトル		出版社	役割		
			2020年 2月	コンディショニングの科学的基礎		〇〇出版	編著		
			年 月						
			年 月						
	(4)	国際会議・国内学会・シンポジウム等における発表	発表期日	発表場所		タイトル	役割		
			2017年 11月	ストレングスシンポジウム		コンディショニングの基礎理論	ファシリテーター		
			2022年 8月	Sports Authority of Korea, International Sports Conference		Hamstringn Muscle; ^^^	Invited Speaker		
			年 月						
	(5)	学会参加 実績	参加期日	学会名		聴講内容	役割		
			2019年 1月	日本アスレティックトレーニング学会		アスレティックトレーナーを問う	出席		
			2020年 7月	日本体力医学会		スポーツと脳震盪	ファシリテーター		
			2022年 9月	日本体育・スポーツ・健康学会		クリニカルワークショップ～メンタルヘルス～	出席		
	(6)	その他	期日	内容					
			年 月						
			年 月						
年 月									
年 月									
*実績・活動が各項目内で複数ある場合、主要なものを抜粋し、各項目の最後に「他〇報」又は「他〇点」等と記載してください。(査読中・投稿中のものは除く)									

氏名		山田 花代					
所属学会		●	日本体育・スポーツ・健康学会	●	日本臨床スポーツ医学会		
		●	日本体力医学会		日本トレーニング科学会		
			日本整形外科スポーツ医学会		日本臨床バイオメカニクス学会		
			日本バイオメカニクス学会		日本アスレティックトレーニング学会		
		●	その他	東京都スポーツ学会			
		●	その他	〇〇ジャパン			
保有資格	AT関連資格	●	NATA-ATC	2010年	3月	取得	
			CAT	年	月	取得	
			その他	年	月	取得	
	医療系資格		理学療法士	年	月	取得	
			はり師	年	月	取得	
		●	きゅう師	1999年	4月	取得	
			あん摩マッサージ指圧師	年	月	取得	
			柔道整復師	年	月	取得	
			その他	年	月	取得	
		体力トレーニング 関連資格		NSCA-CPT	年	月	取得
			NSCA-CSCS	年	月	取得	
			JATI	年	月	取得	
			その他	年	月	取得	
	教員免許		保健体育	年	月	取得	
			養護	年	月	取得	
			その他	年	月	取得	
	その他 スポーツ関連資格		健康運動指導士	年	月	取得	
			健康運動実践指導者	年	月	取得	
			その他	年	月	取得	
	団体等役員および 委員歴 (都道府県体育・スポーツ協会の委員や学会役職、団体役職など)	期間		委嘱機関名		役職名	
		2013年	6月	～	2014年	6月	公益財団法人〇〇協会
2018年		7月	～	2020年	6月	〇〇学会	代表理事
2018年		10月	～	年	月	〇〇医学会	編集委員
2022年		7月	～	年	月	〇〇法人	副会長
年		月	～	年	月		
年		月	～	年	月		
年	月	～	年	月			

■個人情報保護について

本個票のご提出に際して取得した個人情報は、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会 講習・試験免除適応コースの審査およびAT専任教員のリカレント教育の検討以外の目的で利用することはありません。公益財団法人日本スポーツ協会の個人情報保護方針については本会ウェブサイト(<http://www.japan-sports.or.jp/about/tabid758.html>)にてご確認ください。

日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者養成講習会 免除適応コース 講師名簿

申請コース名:「アスレティックトレーナーコース」

別紙「講師個票」より引用可能

学校名:「  
」

別紙「科目別講師基準」にもとづき、該当される講師基準を選択してください。

新規:  
・新規でATコースの授業を担当される場合  
・前年度から担当科目が変更した場合  
・ATコースの申請初年度

	氏名	JSPO公認スポーツ指導者資格 ※該当者のみ記入				担当科目名	カリキュラム科目名	大学院	講師基準	新規・継続 ※新規の場合、「講師個票」を提出	
		AT	Dr	登録番号	有効期限						更新研修
1	山田花代	●		1234567	2025年9月	受講済	アスレティックトレーナー論	ATの役割	修了	JSPO-AT有資格者で条件を全て満たす者	新規※講師個票提出
2	佐藤まなぶ	●		0123456	2025年9月	未受講	テーピング実習	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防	修了	JSPO-AT有資格者で条件を全て満たす者	新規※講師個票提出
							リコンディショニング論特講	リコンディショニング		JSPO-ATとして登録認定後5年を経過している者	
							人体の解剖と機能	人体の解剖と機能		JSPO-ATとして登録認定後5年を経過している者	
3	伊藤はじめ						スポーツ社会学	リコンディショニング	未修了(研究・教育実績によって代替)	科目内容について教育実績を有する者(担当できる時間は全体の1/3を超えない範囲)	新規※講師個票提出
4	鈴木あきえ										
5	長谷川はるか										
6	金子三郎										
7	林こうた										
8	山本たいき										
9	小島しょうた										
10	木村りょうた										
11	橋本ゆい										
12	清田りょうじ				2024年9月	未受講					
13	半沢ただし										
14	大島はな										
15	古川とけい										
16	山口よしこ										
17	村上寅次郎										
18	田中るい										
19	白鳥せいや										
20	小山たかと										
21	原けんた										
22	笠井まさこ										

悪い例

申請時のポイント  
 ●「対応表」に記載の講師全員の氏名が記載されているか  
 →JSPOでは、「対応表」簿と照合して確認いたします！  
 ●「対応表」に記載の講師全員が、「科目別講師基準」の基準を満たしているか  
 →JSPOでは、「科目別講師基準」及び「講師個票」と照合して確認いたします！

## 講師個票

記入例

※年号は全て西暦で表記してください。

申請対象年度 2024年度

フリガナ	ヤマダ ハナヨ		雇用形態	常勤			
氏名	山田 花代						
勤務先名 (「雇用形態」が非常勤の場合のみ)			役職 (地位・身分)	教授			
学歴	専門学校	年 月					
	大学	スポーツ大学体育学科〇〇学専攻	2000	年	3	月 卒業	
	大学院 (修士)	年 月					
	大学院 (博士)	〇〇研究科博士課程〇〇専攻	2005	年	3	月 修了	
専門領域	スポーツ体力学 運動学 コーチング						
教育実績	期間		職歴(学校名等・役職)		主な担当科目		
	2005	年 4月 ~ 2012	年 3月	●●大学常勤講師	〇〇学		
	2012	年 4月 ~ 2016	年 3月	〇〇大学准教授	〇〇学		
	2016	年 4月 ~	年 月	〇〇大学教授	〇〇学		
	年 月 ~	年 月					
研究実績	2010	年 8月	「〇〇〇に関する考察」(『〇〇〇学会雑誌』第〇〇巻第〇号)、10~20頁。単著				
	2013	年 5月	『〇〇〇の研究』〇〇出版、〇〇頁。単著				
	2020	年 12月	「〇〇について」(〇〇大学『〇〇紀要』10集)、100~125頁。共著				
		年 月					
その他 (学位・資格・所属学会)	博士(体育科学) / 高等学校教諭専修免許状(保健体育) 日本体育・スポーツ・健康学会 / 日本コーチング学会 / 日本体力医学会						
JSP0公認スポーツ指導者資格*	名称	アスレティックトレーナー		登録番号	1234567	更新研修実績	受講済
	初期登録	2013	年 4月	有効期限	2025	年 9月	経過年数 11

\*公認スポーツドクター、公認アスレティックトレーナーのいずれかを保有されている方のご入力ください。

## ■個人情報保護について

本個票のご提出に際して取得した個人情報は、公益財団法人日本スポーツ協会 指導者養成講習会 講習・試験免除適応コースの審査以外の目的で利用することはありません。公益財団法人日本スポーツ協会の個人情報保護方針については当協会ウェブサイト( <https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid758.html> )にてご確認いただけます。

記入例

## アスレティックトレーナーコース 施設・設備申請書

学校名	スポーツ大学
-----	--------

必須：必ず個数を記入のうえ写真を貼付ください。

推奨：あれば「有無」に○をつけてください。

## I. 施設

	施設名	数	写真
1	講義室・教室	10	様子が分かる写真
2	アスレティックトレーナールーム * <sup>1</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検査・測定と評価実習室</li> <li>・ コンディショニング実習室</li> <li>・ リコンディショニング実習室</li> <li>・ 救急対応実習室</li> </ul>	3	様子が分かる写真
3	トレーニングルーム	3	様子が分かる写真
4	グラウンド * <sup>2</sup> * <sup>3</sup> ※外部施設の場合は施設名・住所を記載すること	1	様子が分かる写真
5	体育館 * <sup>2</sup> * <sup>3</sup> ※外部施設の場合は施設名・住所を記載すること	1	様子が分かる写真

コメントの追加 [雪西1]: 必須の項目は、未記入の欄  
(数、写真)がないようご記入をお願いいたします。  
●50個以上ある場合は、概数の記載が可能です。  
(例) 50個程度、100個程度等

推奨		
	施設名	有無
1	プール	○
2	その他施設	○

コメントの追加 [雪西2]: 他に特筆すべき施設がございましたらご記入ください。

- \*<sup>1</sup> アスレティックトレーナールームについては、以下 4 つの実習を行える場合は 1 つあれば可、それぞれの実習室を分けていても可とする。
  - ・ 検査・測定と評価実習室
  - ・ コンディショニング実習室
  - ・ リコンディショニング実習室
  - ・ 救急対応実習室
- \*<sup>2</sup> グラウンド、体育館についてはどちらか一方でもあれば可とする。
- \*<sup>3</sup> グラウンド、体育館については学校に備わっていても、近隣に施設があれば可とする。但し、学校が保有しているもしくは提携していることを必須とし、授業や実習にあたって十分に使用できる状態であることを示すこと。

II. トレーニング機器

推奨		
	機器・備品名	有無
■フリーウエイト機器		
1	シャフト	○
2	ベンチ台	○
3	パワーラック	○
4	ウエイト	○
5	ベルト	○
6	ダンベル	○
7	ウエイトスタックマシン	○
■有酸素トレーニング機器		
8	トレッドミル	○
9	自転車エルゴメーター	○

III. 備品

必須			
	機器・備品名	数	写真
1	トレーナーベッド	40	
2	ゴニオメーター	10	
3	メジャー	30	
4	氷嚢	40	
5	ビニール袋	—	
6	バンデージ		
7	クーラーボックス		
8	ストレッチマット		
9	バランスボール		
10	バランスディスク		
11	メディシンボール		
12	ラダー		
13	チューブ (セラバンド)		
14	ミニハードル		
15	ステップ台		
16	マーカー		
17	うちわ		
18	サッカーボール		
19	バレーボール		
20	バスケットボール		
21	テニスボール		
22	ラグビーボール		
23	テニスラケット		
24	コンタクト (タックル) バッグ		
■テーピング関連			
25	・ハサミ	40	
26	・カッター	40	
27	・踵置き	約100	
28	・テーピング	—	

コメントの追加 [雪西3]: ビニール袋・テーピングは消耗品につき、数の記載は不要です。

コメントの追加 [雪西5]: ビニール袋・テーピングは消耗品につき、数の記載は不要です。

コメントの追加 [雪西4]: ●特に細かい物品において、写真は複数の物品を1枚にまとめていただくことも可能です。その際、どの物品が分かるよう、テープを貼ったうえで写真をとるか、何らかの表示をお願いいたします。

推奨		
	機器・備品名	有無
1	ピン	
2	筆	
3	打腱器	
4	握力計	
5	背筋力計	
6	垂直跳計	
7	長座体前屈計	
8	20m シャトルラン CD	
9	ストップウォッチ	
10	皮脂厚計	
11	筋力測定機器	
12	アイシングラップ	
13	製氷機	
14	温・湿度計	
15	WBGT 計	
16	ストレッチポール	
17	コーン	
18	スポーツドリンク	
19	補装具（ブレース）	
20	足底挿板	
21	防具	
22	松葉杖	
23	毛布	
24	止血用具	
25	ゴム手袋	
26	絆創膏類	
27	三角巾	
28	副子	
29	包帯	
30	各種ブレース	
31	U字パット	
32	ヘッドイモビライザー	
33	クリッカー	
34	アイスバス容器	
35	担架	
36	バックボード	
37	ネックロック	

38	心肺蘇生ダミー人形	
39	AED トレーナー	
40	感染予防用シールド	
41	テーピング用スプレー	

#### IV. 標本及び模型・図書

必須		
	品名	数
1	専門科目テキスト（全6巻）	2セット
2	共通科目リファレンスブック	2冊

推奨		
	品名	有無
1	解剖標本及び模型（全身・部分）	
2	参考図書	

#### 申請時のポイント

- 写真は、施設や備品が確認できるようわかりやすい写真を選択すること。
- 1つの写真に複数の設備・備品を映すことも可能・その際は、それぞれの設備・備品が分かるように記載すること。
- 施設・設備の個数、広さ、種類等については、規定しないものとする。
- 50個以上ある場合は、概数の記載でもよい。
- グラウンド、体育館について、施設が学校に備わっていない場合は、近隣施設の施設名・住所を記載すること。
- 必要がある際には JSPO から追加で確認や資料提出を求める事がある。
- 本報告書に虚偽があった場合は、承認を取り下げる場合がある。